

いきいき健診を視察 「健康づくりけん引」

弘前市長
全国の高齢者1万人の健

康調査に参画する弘前大学
と弘前市の「いきいき健診」
が本年度も岩木文化センタ



認知機能検査の様子を視察
する(右から)鎌田副市長、
桜田市長、中路特任教授

「あそべーるで行われてい
る。13日は桜田宏市長が鎌
田雅人副市長と共に会場を
訪れ、認知症関連の検査の
様子などを視察した。

全国調査は国が2016
年から取り組んでいる事
業。弘大や九州大など8大
学が、高齢者の追跡調査に
よって認知症のメカニズム
や予防法を探る。同市では
65〜80歳の市民の中から約
2400人が参加し、25年
まで隔年で健康調査を受け
る。

本年度の健診は、16年に
受診した約1300人を対

象に、9日から15日まで実
施。13日は約180人が2
〜3時間かけて各ブースを
回り、認知機能を調べる嗅
覚検査や想起テストに臨ん
だ。血液検査や骨密度測定
なども行われた。

中路重之・弘大学院医
学研究科特任教授らの案内
で会場を回った桜田市長は
「弘大や企業、地域の方々
の協力で、日本の健康づく
りをけん引する取り組みに
なっている」と話した。

(太田佳希)